

お日さまサンサン生き生きまつりに参加して

安藤たみ子

まさにお日さまサンサン、風もない絶好の体育日よりでした。

会場には競技エリアを囲んで4面テントが張られていました。

一面は中央に放送席・来賓席があり、その両端はテナントになり、色々な物が売られているとの事。

私は初めて参加なので、競技だけと思っていましたので、それを聞いて、わあ、本当のおまつりなんだとワクワクしてきました。

開始まで時間があつたので、さ

つそくのぞいて見る事にしました。

まずは荃崎

障害者コーナー

へ。編み物グループの方々お手製のベストやたわし、成島さんがご持参して下さった品物が並んでいました。

その中の素敵なジャケットが夫の目に止まった様です。サイズもピッタリで超格安、しかも小皿のプレゼント付きとのことで購入。さっそく着込んで！

他のコーナーも見て回ったのですが、夫はジャケットに大満足で他に興味



安藤さんご夫妻

がないらしく、何を売ってるのか私に説明がいつさいないんですよ。

どんな物が売られているのかしらと私がうろろうろしていたら、志賀さんが、私の腕をとってくれて、ここはおもちや、ここは雑貨、ここはお菓子と一つ一つのコーナーを案内してくれました。おかげで私は楽しく見て回れて、長寿まんじゅうも買う事ができました。

優しい志賀さんありがどうね。美味しかったです。

いよいよ競技開始です。大玉を二人で運ぶのと。パン食い競争に出ました。一番ビリだった様で残っていた。パンを取ったらジャム。パンでした。朝少ししか食べず、おなかペコペコだったので、早速食べました。

私は手術した目がぶつかるのを用心して団体競技には参加しませんでした。綱引きは大いに盛り上がったよ

うで、みんなの大歓声が聞こえてきます。それを一人で聞いていたら、なぜか高齢になると健常者も子供みたいになるんだなあと感じてきました。

そうしたら、10年程前の事を思い

出しました。

私が障害者になり初めて障害者のスポーツ大会に参加しました。種目は今日と同じ様な玉入れ、パン食い競争、大玉ころがし等でした。私は、幼稚園生みたいで嫌だなあ思いました。でも、これからの私はこれを楽しんでいると思つて生きていくしかないんだなああと情けなくもあり悲しい気持ちになつたものです。

今ではそんな思いにとらわれた事などすっかり忘れ、少しの事に満足し楽しく過ごしています。

今日の生き生きまつりもアトラクション有りお宝もいただいて本当に楽しい良い一日でした。

私は目と耳が悪いので家にはばかりいるとボケてしまうので障害者の行事には極力参加させていただいています。

そこで感じますのは、他の地区の行事への参加者が少なく、まったくいない地区もあり、びつくりします。

そんな中、いろいろ参加出来ます事は、とても幸せな事です。これも會長さん、副會長さん、支援してくださる方々が努力して下さいているからなんだなあと感謝しております。

ありがとうございます。

介援隊 災害支援

竹原 良子

東日本大震災から早や3年8カ月が過ぎました。

私たちが介援隊も時を同じくして災害ボランティアを立ち上げました。

今年9月5日〜6日に宮城県山元町、福島県新地町の訪問は四回目となりました。

歳月が経つと人々の関心が薄れるのは世の習いですが、私たち介援隊は山元町のお寺(普門寺・浄正寺)と新地町とつながりを続けてまいります。

普門寺には飯田さんより戴きました味噌50kgを届けました。新地町の仮設住宅は人数が少なくなり、今年には社協に行き、あいさつをさせていただきました。

活動は一步一步ですが、現地の要望に沿うように支援をしたいと思っております。

一昨年は新地町のエゴたわし、今年には山元町の山ぶどう液を仕入れました。災害復興にご協力をお願い致します。

